



中央小だより ザウルス通信

第12号

令和7年12月1日
発行責任者 神山 直樹



ザウルスキッスの合言葉

「考える」… しっかり「考える」本気ザウルス
「やりぬく」… とことん「やりぬく」根気ザウルス
「助け合う」… 心から「助け合う」勇気ザウルス

自然を満喫！楽しかった冒険活動教室

5年生が、11月20日（木）から22日（土）に、2泊3日で「冒険活動教室」に出かけました。

第1日目

市冒険活動センター到着後「入所式」を行い、早速活動へ。まずは「園内写真オリエンテーリング」を行い、広いセンター内を巡り、建物の位置や通り道などを確かめました。



昼食をとり、宿泊するロッジに荷物を運んだ後、午後は「篠井発見ラリー」に挑戦。絵地図を参考に、班のみんなで話し合いながら、自然いっぱいの秋の篠井を巡りました。

第2日目

午前中は、篠井三山のうち榛名山・男山に登りました。森の中で枯れ葉を踏みしめながら進んだり、岩を登ったりしながら、全員無事に下山することができました。



午後は「イニシアティブゲーム」に挑戦。グループごとに助け合いながら、一つ一つの課題をクリアしていきました。夕食後の「スターウォッチング」では、きれいな星空を満喫しました。とてもハードな2日目でしたが、みんな最後まで頑張りました。

第3日目

最終日の活動は「基地づくり」。指導員の方のご指導を受けながら、丸太やロープ、林の中で拾った枝などを使って、オリジナルの秘密基地を作りました。

この3日間、「5分前行動」をはじめ、活動や宿泊のルール等をよく理解し、自信をもって行動する姿が見られた5年生。この冒険活動教室を通して学んだことや自信を深めたことなどを、今後の学校生活でぜひ生かしてほしいと思います。



おにぎりの日



子供たちにバランスの良い食事の大切さ、ご家族や生産者皆さんの思いを感じ、感謝の気持ちをもって自身の「食生活」を見直す機会として、11月18日(水)に「おにぎりの日」を実施しました。



学年に応じて、下学年はできる範囲でお手伝いを、上学年は自分で、それぞれ心を込めて握ったおにぎり。毎日食事を作ってくださいるご家族の思いを改めて感じる時間になったのではないかと思います。

保護者の皆様には、お忙しい中ご協力くださり、ありがとうございました。



内閣総理大臣賞を受賞



5年生の森田智仁君の作文「祖父の地球儀」が、2025年度「小さな親切」作文コンクールで、2万5千人を超える日本全国の小・中学生の中から最優秀作品に選ばれ、「内閣総理大臣賞」を受賞しました。

いつも自分を励ましてくれる祖父との温かな心と言葉の交流を丁寧に表現した智仁君。特に、作文の締めくくりにある「言葉はなくても、ぼくには祖父が教えてくれた親切な心と心で会話できるツールがある。」という文に、とても心を打たれました。

先日の市陸上競技大会にも出場するなど、運動面でも活躍している智仁君。これからも、持ち前の素直さとユニークな発想力などを生かし、いろいろなことに挑戦して行ってほしいと思います。

本当におめでとうございました。



校長・副校長との面談



お子さんの様子で気になることや不安に思うこと、今後の進路など、保護者の皆様からのご相談等を下記の日時に校長・副校長が直接お伺いしたいと思います。

12月22日(月)・23日(火) 8:30~16:00

希望される方は、ご遠慮なく学校(TEL 635-3043 副校長あて)までご連絡ください。

※上記日時以外でも、**希望があればいつでも**お声かけください。